

2013年7月24日 全7頁

## Indicators Update

# 6月貿易統計

円安効果で輸出金額が増加、数量の改善は足踏み

経済調査部  
エコノミスト 橋本政彦

### [要約]

- 2013年6月の貿易統計は、輸出金額が前年比+7.4%となり、市場コンセンサス（同+10.0%）を下回った。しかし、輸出金額は4ヶ月連続で前年を上回り、季節調整値で見ても前月比+1.1%と7ヶ月連続で増加しており、増加傾向となっている。
- 輸出数量指数を季節調整値で見ると（季節調整は大和総研による）、前月比▲0.9%と2ヶ月連続の低下となっており、改善傾向が一旦足踏みした格好。米国向け、アジア向けが前月から増加したものの、欧州向けの減少が全体を押し下げた。ただし、全世界向けの輸出数量は3ヶ月移動平均では4ヶ月連続の増加となっており、均してみれば持ち直しの動きが続いている。
- 先行きに関しては、輸出数量が増勢を強めることで、輸出金額の増加が続くと見込んでいる。景気後退が続くEU向け輸出数量は当面低調に推移する見込みだが、緩やかな景気拡大が続く米国向けおよびアジア向けの増加によって、輸出数量は増加傾向となる見通し。中国などの新興国の成長率が鈍化していることには留意が必要だが、昨年末からの円安が引き続き輸出数量増加の支援材料になるとみられる。

### 貿易統計の概況（原系列、前年比、%）

	2012年			2013年					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸出金額	▲6.5	▲4.1	▲5.8	6.3	▲2.9	1.1	3.8	10.1	7.4
コンセンサス									10.0
DIR予想									12.8
輸入金額	▲1.5	0.9	1.9	7.1	12.0	5.6	9.5	10.1	11.8
輸出数量	▲8.1	▲7.5	▲12.2	▲5.9	▲15.8	▲9.8	▲5.3	▲4.8	▲7.3
価格	1.7	3.6	7.3	13.0	15.3	12.1	9.6	15.7	15.9
輸入数量	▲1.0	▲0.9	0.0	▲1.1	▲0.1	▲5.5	2.0	▲2.4	▲5.3
価格	▲0.5	1.8	1.9	8.3	12.1	11.7	7.4	12.8	18.0
貿易収支	▲5,562	▲9,570	▲6,457	▲16,335	▲7,813	▲3,669	▲8,848	▲9,964	▲1,808

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

## 輸出数量の改善は一旦足踏み

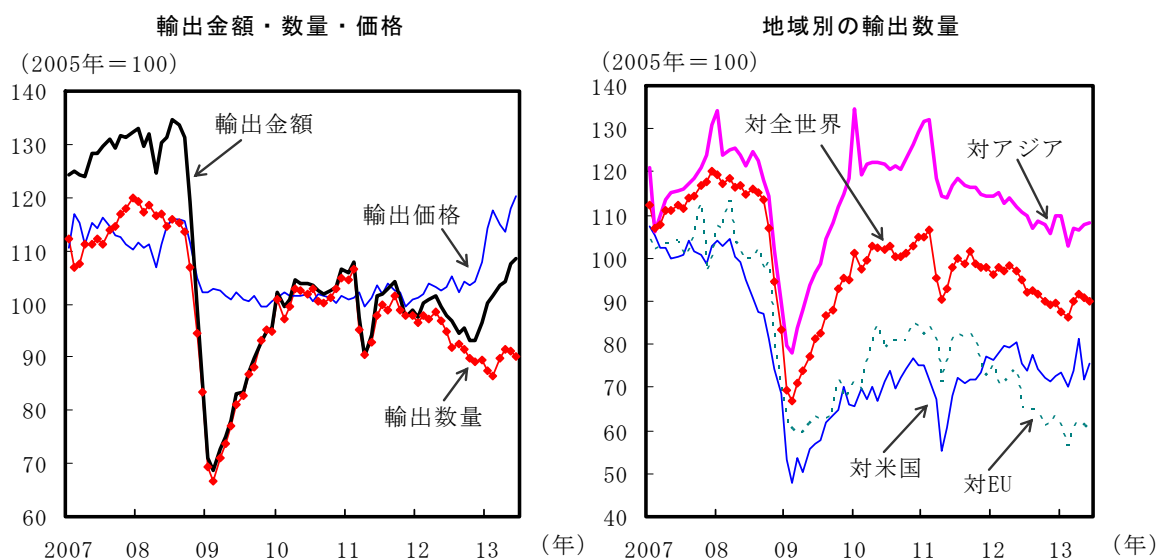
2013年6月の貿易統計は、輸出金額が前年比+7.4%となり、市場コンセンサス(同+10.0%)を下回った。しかし、輸出金額は4ヶ月連続で前年を上回り、季節調整値で見ても前月比+1.1%と7ヶ月連続で増加しており、増加傾向となっている。輸出金額を価格と数量に分けて見ると、円安の効果により輸出価格が前年比+15.9%と大幅に上昇しており、価格の上昇が輸出金額を押し上げるという構図が続いている。一方、輸出数量は前年比▲7.3%と13ヶ月連続の前年割れとなった。

輸出数量指数を季節調整値で見ると(季節調整は大和総研による)、前月比▲0.9%と2ヶ月連続の低下となっており、改善傾向が一旦足踏みした格好。米国向け、アジア向けが前月から増加したものの、欧州向けの減少が全体を押し下げた。ただし、全世界向けの輸出数量は3ヶ月移動平均では4ヶ月連続の増加となっており、均してみれば持ち直しの動きが続いている。

6月の輸入金額は、前年比+11.8%と8ヶ月連続で前年を上回った。輸入数量は前年比▲5.3%と2ヶ月連続の減少となったが、輸入価格が同+18.0%と大きく上昇しており、円安を主因とする価格上昇が引き続き輸入金額を押し上げている。この結果、貿易収支は▲1,808億円と、12ヶ月連続の赤字となった。貿易収支は前月から大幅に縮小しているが、これは6月の輸出が多いという季節性によるものである。季節調整値でみた貿易収支は▲5,987億円となり、前月から赤字幅が縮小しているが、縮小幅はそれほど大きくない。

なお、当月の貿易統計を受けてGDPベースの輸出入を暫定的に推計したところ、2013年4-6月期は、実質輸出、実質輸入ともに前期から増加し、外需(純輸出)の実質GDP(前期比)に対する寄与度は+0.3%pt程度となる見込みである。

### 輸出金額・価格・数量と地域別輸出数量の推移(季節調整値)



## 金額ベースでは EU 向けも下げ止まり

輸出金額（前年比）を主要商品別にみると、大分類では輸送用機器以外の全ての項目が前年から増加しており、輸出は全般的に持ち直している。なかでも、化学製品、原料別製品、電気機器の寄与が大きかった。

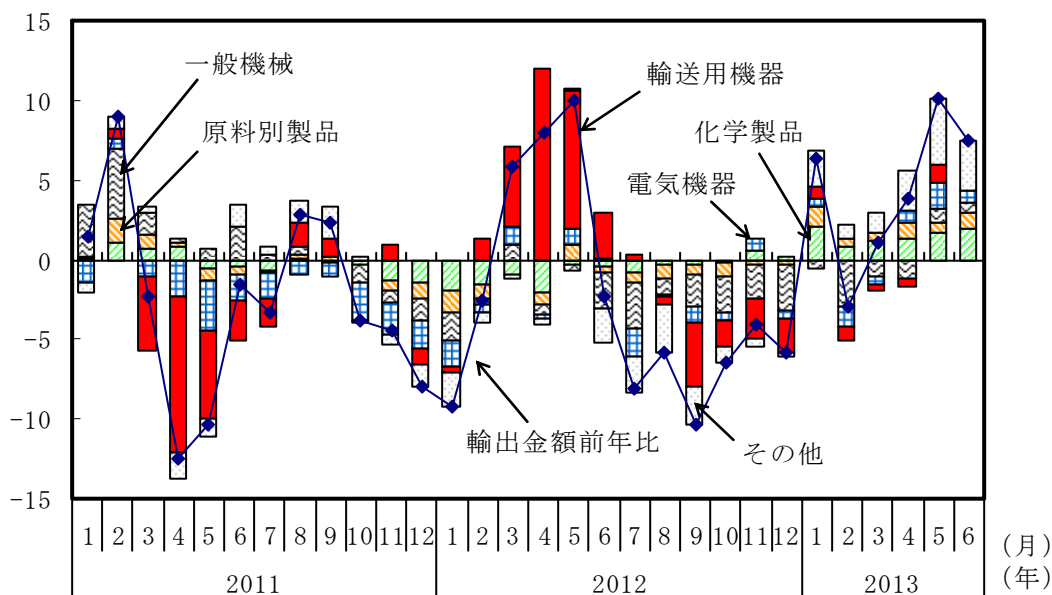
化学製品は前年比+20.6%と8ヶ月連続の増加となった。地域別に見ても、米国(同+24.9%)、EU(同+16.9%)、アジア向け(同+20.7%)の全てが増加しており、総じて堅調な推移が続いている。特に中国、NIEs向けを中心に「有機化合物」が大幅に増加(同+53.4%)したことが全体を大きく押し上げた。

原料別製品は前年比+7.5%と6ヶ月連続で増加し、増加率は前月から拡大した。米国向け(同▲0.7%)が2ヶ月連続で減少したものの、EU(同+3.2%)、ASEAN(同+6.7%)、NIEs(同+4.9%)向けが、「鉄鋼」および「非鉄金属」が増加を背景に好調だったことが主な押し上げ要因となった。

電気機器は前年比+4.0%と3ヶ月連続で前年を上回った。米国向け(同+7.3%)、アジア向け(同+2.5%)の増加が続いていることに加え、EU向け(同+5.3%)が1年2ヶ月ぶりの増加に転じた。前月に引き続きアジア向け「半導体等電子部品」の増加が主な押し上げ要因となったが、NIEs向けが好調を維持する一方で、中国向けは3ヶ月ぶりの減少に転じている。

### 輸出金額の商品別内訳

(前年比、%、%pt)



(注) その他は「食料品」、「鉱物性燃料」、「原料品」、「その他」の合計。

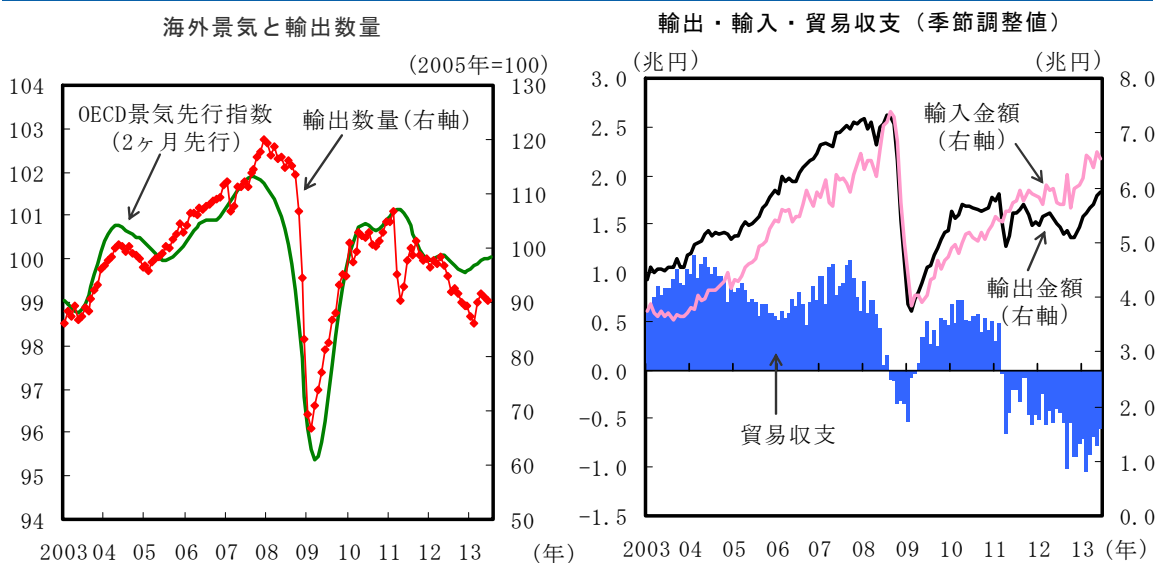
(出所) 財務省統計より大和総研作成

## 円安による輸出数量の押し上げ効果は今後本格化

先行きに関しては、輸出数量が増勢を強めることで、輸出金額の増加が続くと見込んでいる。

景気後退が続く EU 向け輸出数量は当面低調に推移する見込みだが、緩やかな景気拡大が続く米国向けおよびアジア向けの増加によって、輸出数量は増加傾向となる見通し。中国などの新興国の成長率が鈍化していることには留意が必要だが、昨年末からの円安が引き続き輸出数量増加の支援材料になるとみられる。また、輸入についても、国内需要の増加に伴って、緩やかな増加傾向となる見込みである。LNG などエネルギーの輸入数量の高止まりが続いていることから、貿易収支の黒字化は当面見込めない。ただし、輸出数量の増加に伴い、赤字幅は徐々に縮小していく公算である。

## 海外景気と輸出数量、貿易収支



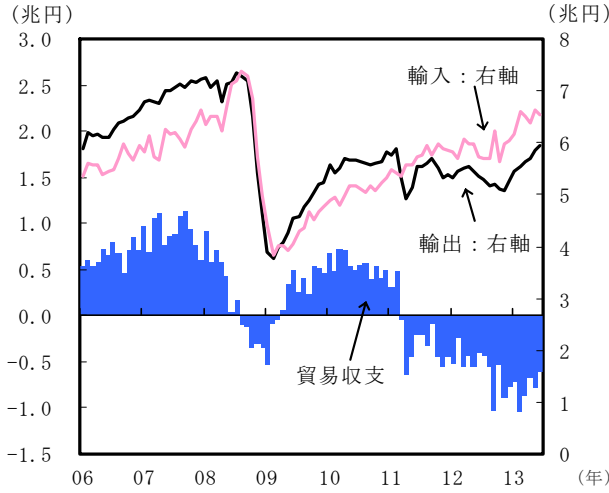
(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

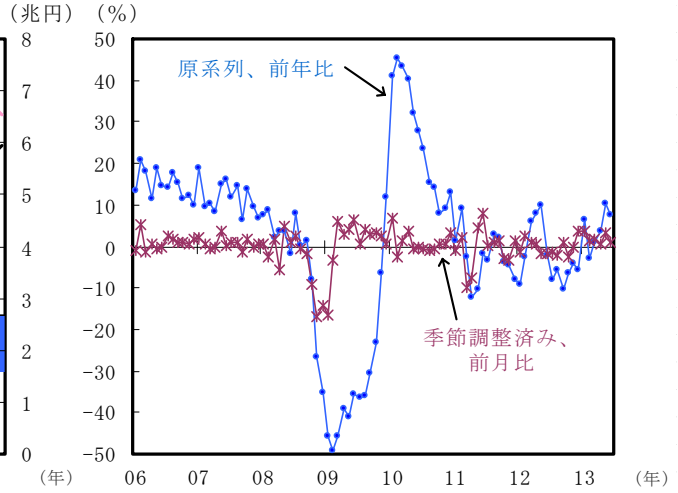
**概況**

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

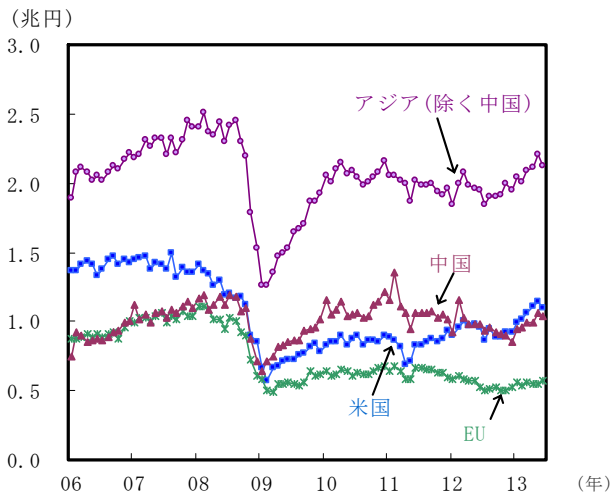


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

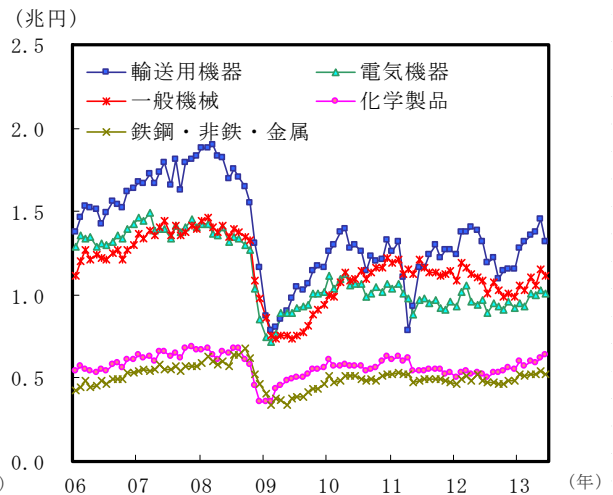


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

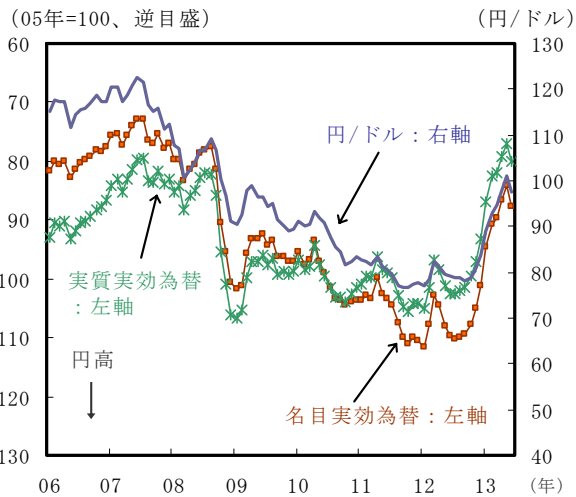


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

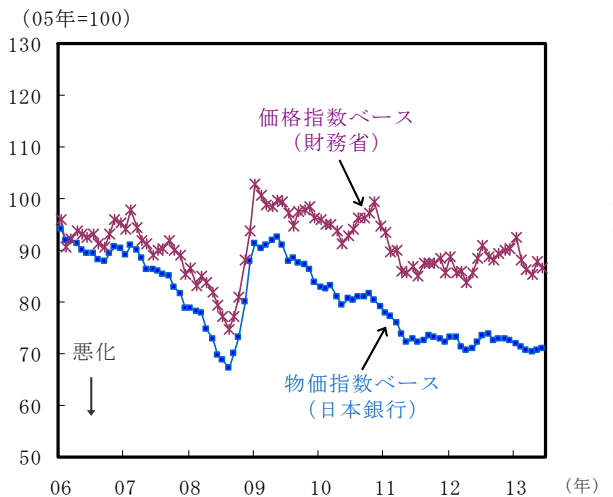


**為替相場**



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

**交易条件**



輸出金額 内訳								
	2013/01	2013/02	2013/03	2013/04	2013/05	2013/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	6.3	▲2.9	1.1	3.8	10.1	7.4	100.0	7.4
食料品	27.2	2.3	13.8	13.7	34.7	16.7	0.6	0.1
原料品	25.1	14.8	21.3	24.4	10.1	13.3	1.7	0.2
鉱物性燃料	14.2	17.9	38.6	58.5	65.8	41.0	2.2	0.7
化学製品	20.0	9.1	12.6	13.5	16.8	20.6	10.5	1.9
原料別製品	10.5	3.4	3.3	7.8	4.2	7.5	13.3	1.0
鉄鋼	3.1	5.6	0.1	15.8	▲1.9	9.7	5.5	0.5
非鉄金属	38.6	11.8	9.8	0.1	10.8	9.7	2.0	0.2
金属製品	13.1	▲1.3	4.3	3.6	9.9	▲0.7	1.6	▲0.0
一般機械	▲2.7	▲13.4	▲4.7	▲5.8	4.5	3.5	19.2	0.7
電気機器	2.5	▲7.6	▲3.4	4.0	9.6	4.0	17.4	0.7
半導体等電子部品	1.1	▲9.8	▲0.4	9.7	16.3	11.5	5.2	0.6
IC	3.8	▲9.2	2.1	17.2	24.1	17.6	3.6	0.6
映像記録・再生機器	▲23.6	▲39.0	▲35.9	▲34.9	▲21.8	▲35.4	0.9	▲0.5
音響・映像機器の部分品	▲2.4	▲10.4	▲22.5	▲6.1	▲11.4	▲9.6	0.6	▲0.1
電気回路等の機器	▲0.4	▲7.7	6.6	4.3	9.3	5.8	2.4	0.1
輸送用機器	3.3	▲3.6	▲1.2	▲2.1	4.9	0.0	23.3	0.0
自動車	2.1	▲5.3	▲3.4	6.5	5.5	11.7	15.0	1.7
自動車の部分品	14.3	1.5	0.7	6.8	3.5	0.8	4.8	0.0
その他	13.3	3.7	3.8	10.3	22.9	19.8	11.9	2.1
科学光学機器	9.7	▲4.6	8.9	▲4.8	15.7	7.1	3.1	0.2

米国向け輸出金額 内訳								
	2013/01	2013/02	2013/03	2013/04	2013/05	2013/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	10.9	5.7	7.0	14.8	16.3	14.6	100.0	14.6
食料品	12.2	▲2.7	3.2	▲19.0	16.2	2.6	0.4	0.0
原料品	▲39.6	▲21.5	20.6	9.6	▲45.7	3.7	0.4	0.0
鉱物性燃料	▲2.5	125.4	▲85.2	1353.4	5881.2	19.8	1.1	0.2
化学製品	16.7	17.5	10.5	30.7	17.5	24.9	5.5	1.3
原料別製品	12.8	1.4	▲2.1	5.1	▲1.7	▲0.7	6.8	▲0.1
鉄鋼	▲2.5	▲8.4	▲12.9	1.7	▲23.2	▲12.0	1.9	▲0.3
非鉄金属	10.5	▲10.4	▲18.7	▲15.9	▲17.7	▲15.2	0.5	▲0.1
金属製品	29.0	8.5	13.4	7.0	3.5	▲10.8	1.5	▲0.2
一般機械	4.4	5.8	14.0	3.9	19.1	6.6	22.8	1.6
電気機器	10.5	9.5	▲0.7	9.5	19.3	7.3	14.1	1.1
半導体等電子部品	4.1	7.2	15.4	16.5	20.2	9.4	1.9	0.2
IC	20.4	4.0	12.5	23.7	29.3	13.4	1.1	0.2
映像記録・再生機器	▲11.0	▲30.9	▲56.2	▲40.8	▲31.3	▲30.7	1.1	▲0.6
音響・映像機器の部分品	▲25.0	▲3.8	▲54.1	▲22.7	▲9.7	▲5.2	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	16.1	6.9	20.6	18.2	37.6	22.5	1.5	0.3
輸送用機器	16.0	2.8	6.1	19.5	13.6	24.5	39.9	9.0
自動車	10.5	▲3.4	3.0	21.0	13.1	29.0	30.4	7.8
自動車の部分品	29.9	15.2	6.7	5.7	14.4	▲1.7	5.8	▲0.1
その他	6.9	10.1	14.2	25.0	17.9	16.8	8.9	1.5
科学光学機器	7.3	12.5	11.3	14.1	25.8	6.3	2.1	0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2013/01	2013/02	2013/03	2013/04	2013/05	2013/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲4.5	▲9.6	▲4.7	▲3.5	▲4.9	8.6	100.0	8.6
食料品	22.9	7.5	6.5	18.9	11.6	58.8	0.3	0.1
原料品	17.6	9.6	11.2	44.7	▲37.1	22.5	1.0	0.2
鉱物性燃料	374.7	18.2	164.3	▲91.4	203.3	630.9	0.2	0.2
化学製品	0.5	6.2	1.9	4.0	0.4	16.9	9.4	1.5
原料別製品	▲9.0	▲21.7	▲11.4	▲12.7	▲18.6	3.2	7.4	0.3
鉄鋼	▲36.7	▲33.4	▲2.3	16.9	▲57.9	4.9	0.9	0.0
非鉄金属	▲19.1	▲64.3	▲35.9	▲54.7	▲17.1	19.5	0.8	0.2
金属製品	20.8	▲10.6	▲11.5	1.0	▲3.7	▲11.3	1.5	▲0.2
一般機械	2.7	▲9.0	▲4.2	1.4	▲1.3	6.3	25.5	1.6
電気機器	▲1.4	▲3.6	▲7.7	▲8.8	▲3.0	5.3	21.0	1.1
半導体等電子部品	0.5	▲8.8	▲2.1	▲0.2	5.0	17.0	2.9	0.5
IC	17.8	14.3	14.0	8.9	2.5	17.7	1.7	0.3
映像記録・再生機器	▲30.8	▲38.2	▲23.4	▲41.9	▲37.3	▲45.7	2.0	▲1.8
音響・映像機器の部分品	45.6	31.7	16.1	▲9.2	▲30.0	20.8	1.1	0.2
電気回路等の機器	4.7	3.3	11.9	1.0	11.2	23.8	2.0	0.4
輸送用機器	▲10.6	▲25.8	▲0.3	▲7.1	▲12.6	▲5.3	18.4	▲1.1
自動車	▲10.8	▲23.4	▲10.0	▲20.8	▲1.2	▲20.1	9.3	▲2.6
自動車の部分品	9.5	▲11.7	▲10.3	15.2	▲4.6	10.1	5.8	0.6
その他	▲13.1	3.8	▲14.6	0.9	4.8	34.2	16.6	4.6
科学光学機器	▲9.4	▲9.1	▲8.0	▲12.2	9.4	10.5	3.7	0.4

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2013/01	2013/02	2013/03	2013/04	2013/05	2013/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	8.4	▲5.2	0.3	4.3	11.0	7.4	100.0	7.4
食料品	31.0	4.6	14.8	17.6	39.6	14.8	0.7	0.1
原料品	33.8	16.9	22.0	23.4	24.2	12.4	2.6	0.3
鉱物性燃料	25.1	20.3	4.4	43.7	37.9	31.1	2.6	0.7
化学製品	23.6	9.5	14.6	13.3	20.6	20.7	14.4	2.7
原料別製品	13.7	4.3	6.3	6.4	6.6	6.1	16.7	1.0
鉄鋼	7.9	6.6	5.2	13.3	4.8	9.0	7.5	0.7
非鉄金属	43.7	15.4	15.5	0.9	13.4	10.9	3.1	0.3
金属製品	7.3	▲1.3	2.3	1.9	10.0	1.0	1.8	0.0
一般機械	▲6.6	▲20.6	▲12.4	▲12.3	0.2	1.2	18.6	0.2
電気機器	1.6	▲12.2	▲2.6	4.8	10.5	2.5	21.1	0.5
半導体等電子部品	1.4	▲11.0	▲0.8	9.6	16.7	11.1	8.2	0.9
I C	2.0	▲11.5	0.8	17.3	25.1	17.9	5.8	1.0
映像記録・再生機器	▲21.7	▲40.4	▲24.2	▲22.4	▲0.8	▲29.8	0.7	▲0.3
音響・映像機器の部分品	▲17.0	▲27.4	▲34.0	▲9.2	▲14.1	▲15.6	0.6	▲0.1
電気回路等の機器	▲3.6	▲10.5	6.2	4.7	6.4	2.8	3.4	0.1
輸送用機器	▲8.9	▲14.7	▲9.0	0.3	▲1.9	▲6.7	9.1	▲0.7
自動車	▲18.6	▲24.2	▲19.1	▲9.1	▲15.4	▲2.7	3.8	▲0.1
自動車の部分品	9.5	1.9	1.4	8.7	2.9	2.0	4.1	0.1
その他	23.6	4.8	6.6	9.8	24.7	20.6	14.2	2.6
科学光学機器	18.1	▲4.2	14.5	▲1.5	21.2	10.0	4.0	0.4

中国向け輸出金額 内訳								
	2013/01	2013/02	2013/03	2013/04	2013/05	2013/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	2.9	▲15.9	▲2.5	0.3	8.3	4.8	100.0	4.8
食料品	▲11.5	▲10.0	48.9	39.9	30.9	▲2.9	0.2	▲0.0
原料品	43.0	13.9	17.4	13.3	19.4	18.9	3.9	0.6
鉱物性燃料	▲19.3	34.2	5.5	▲11.4	45.2	38.0	1.3	0.4
化学製品	38.6	12.4	16.2	13.6	30.3	34.1	15.7	4.2
原料別製品	6.5	▲16.4	2.2	5.8	4.5	4.1	13.6	0.6
鉄鋼	▲17.6	▲26.4	▲12.9	11.2	▲4.6	5.6	4.5	0.3
非鉄金属	59.2	▲7.5	20.2	▲0.3	11.8	4.4	2.6	0.1
金属製品	▲2.8	▲11.5	5.2	0.9	7.5	1.6	1.9	0.0
一般機械	▲10.5	▲27.0	▲13.0	▲10.3	▲0.6	0.7	20.5	0.2
電気機器	▲5.2	▲20.6	▲8.7	▲2.7	5.7	▲8.1	21.6	▲2.0
半導体等電子部品	▲4.9	▲19.6	▲7.6	7.5	9.8	▲5.7	7.6	▲0.5
I C	▲9.6	▲21.0	▲9.6	13.7	14.7	▲4.6	5.2	▲0.3
映像記録・再生機器	▲42.4	▲62.0	▲27.2	▲42.0	▲25.7	▲38.1	1.1	▲0.7
音響・映像機器の部分品	▲2.5	▲7.6	▲22.8	7.2	▲7.8	▲30.2	0.7	▲0.3
電気回路等の機器	▲9.9	▲19.9	▲2.1	▲4.7	8.4	▲5.1	3.4	▲0.2
輸送用機器	▲36.0	▲37.3	▲17.8	▲3.4	▲14.3	▲1.8	10.0	▲0.2
自動車	▲60.4	▲54.1	▲31.7	▲13.8	▲27.7	▲3.2	4.3	▲0.1
自動車の部分品	▲12.7	▲16.7	▲4.7	6.6	1.3	▲1.2	5.5	▲0.1
その他	24.4	▲8.7	10.8	1.7	21.2	8.0	13.2	1.0
科学光学機器	27.3	▲5.7	32.0	6.6	33.5	23.2	6.4	1.3

(出所) 財務省統計より大和総研作成